

【小・中学生ら 40 人が参加 白山瀬波がゴリ放流体験事業】



小・中学生ら40人が参加

白山瀬波がゴリ放流体験事業

中央設計技術研究所 (金沢市、中辻英二社長)

が設立した地域活性化会社の白山瀬波(石川県白山市、西原秀幸社長)の初イベントとなるゴリの放流体験事業が10月31日、清流の郷「瀬波川キヤンプ場」(白山市瀬波)で、地元の小・中学生や保護者ら約40人が参

加して開かれた「写真。清流にのみ棲むゴリ(カジカゴリ)を放流すること、未来に「清流」瀬波川を守ることを目的に、3年程前から地元壮年団(瀬波まんさく会)による放流を開始。今回は白山瀬波の後援のもと、昨年と同様に前多産業と加賀土木の地元建設業者2社に加え、新たに中央設計技術研究所の協力も得ながら、未来を担う子ども達に放流を通じて自然への関心と大切さを知る機会を提供しようと実施した。

同日は、今年春に孵化した体長2〜3センチのゴリの稚魚約8000匹を放流するとともに、ゴリの稚魚の仕入先である石川県内水面水産センターの職員がゴリの生態系に関

して講演した。